<u>広島都市学園大学 看護学科 2025年度</u>

広島都市学園大学			Г				2025年度	
科目コード	N22316 科目名 地域・在宅看護論 ************************************							
履修区分	必修	開講期	2年後期	授業回数	15回	単位数	2単位	
担当者		- 구조된 스캔티스티		武田留美子			+n=#**	
授業の概要	域・在宅看護の変遷やその社会背景をはじめ、地域・在宅看護の目的・基本的な理念や関連する概念、原理原則を学ぶ。地域・在宅看護の対象者の特性と支援のあり方、ならびにその支援の基盤となる訪問看護制度を学ぶ。さらに、在宅ケアにおけるケアマネジメントや地域包括ケアシステムの基本、関係機関・職種との連携の必要性、社会資源を学ぶ。 平和を希求する姿勢を身につける							
DPとの関連	豊かな教養を身につける 高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける 地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける 自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関り買献しようとする意欲を身につける 多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける						-	
	社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける 異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける DP:ディブロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)=卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	地域・在宅看護の対象者の特性とその支援の基本を理解できる 地域・在宅看護における制度や社会資源について理解できる 地域・在宅看護におけるケアマネジメントや関係機関・関係職種間の連携を理解できる。 訪問看護制度の基本を理解できる。							
夏修上の注意事項	14回目の講義は、13回 必須です。	回目の講義を聞いた	ថ守)。欠席時の課題提出 亡後に作成した課題を持参 回注意しても改善が見ら∤	§し , グループワ	ークと発表を行いますの	で、講義参加要件に	は課題の持参が	
	回数	講義内	容【担当教員】		į	事前・事後学修		
授業計画	1 9/17 地域・石	9/17 地域・在宅看護論講義ガイダンス/地域・在宅看護とは【武田留美子】			事前学習:テキスト該当範囲の通続(20分)、事後学習:テキストと講義資料の熟読と誤題提出(80分)			
	2 9/24 地域・石				事前学習:テキスト該当範囲の通読(20分)、事後学習:テキストと講義資料の熟証と課題提出(80分)			
	3 10/1 地域・	10/1 地域・在宅療養者の家族の理解と支援【武田留美子】 事前学習:テュと課題提出(8				ト該当範囲の通読(20分)、事後学習:テキストと講義資料の熟語)		
	4 10/8 地域・在宅看記	10/8 地域・在宅看護マネジメント(退院支援・外来看護・終末期)【武田留美子】 と課題提出(				スト該当範囲の通読(20分)、事後学習:テキストと講義資料の熟 の分)		
	5 10/15 在宅療					事前学習:テキスト該当範囲の通読(20分)、事後学習:テキストと講義資料の熟証課題提出(80分)		
	6 10/22 在宅療	10/22 在宅療養者を支える社会資源/介護予防と介護保険【武田留美子】 事前学習:テキスト該当範囲の通読(20分)、事と課題提出(80分)				読(20分)、事後学習:テ=	Fストと講義資料の熟	
	7 10/29 在宅療	10/29 在宅療養を支える社会資源/障害者、難病、小児 【武田留美子】 専前学習: テキスト該当範と課題提出(80分)				の通読(20分)、事後学習:テキストと講義資料の熟記		
	8 11/5 中間テ	11/5 中間テスト 地域を支える連携の実際 【武田留美子 湯淺梨香】 事前学習: テキスト該当範囲の通読(20分)、事後学習: テと課題提出(80分)				Fストと講義資料の熟		
		11/12 中間テスト振り返り 多職種連携と多職種チームでの協働【武田留美子】 事前学習: テキスト該当範囲の通読(20分)、事後学と課題提出(80分)						
		11/19				読(20分)、事後学習:テキ	Fストと講義資料の熟	
	11 11/26 在宅看	11/26 在宅看護におけるICFの視点と支援【武田留美子】						
	12 12/3 訪問看	12/3 訪問看護の実際 【中本 妙】						
		12/10 訪問看護ステーションの活動と制度 【武田留美子】 12/17 訪問看護ステーションの活動と制度 (訪問看護ステーションの立ち上)			事前学習:テキスト該当範囲の通読(20分)教科書の熟読(10分)事後学習:訪問 該ステーション立ち上げパンフレット作製(90分) 事前学習:訪問看護ステーション立ち上げパンフレット作製(90分)事後学習:学			
		課題発表)自分たちが作った訪問看護ステーション発表【武田留美子】 内容の整理,発表のまとめと課題提出(2				提出(20分)		
	15 1/7 在宅療養者の権利保障まとめ【武田留美子】					での授業での振り返り(30分 (60分)	3)	
成績評価方法				3 2 7 1 00 70				
教科書	書名・著者(出版社)						コード	
	地域・在宅看護の基盤/河原加代子(医学書院)*地域看護学概論で使用したもの 地域・在宅看護の実践/河原加代子(医学書院)					978-4-260-04689-3 978-4-260-04714-2		
参考書	医療福祉サービスガイドブック 2025年度版 国民衛生の動向*地域看護学概論で使用したもの					978-4-260-06026-4		
教員からの メッセージ	講義ごとに課題を課します。特に14回目に持参する課題は配点を高くしており、楽しく取り組んでもらいたいです。 抽象的な内容が多く,また制度の学修が必須ですので、しっかり復習してください。 この講義を通じて、一人でも在宅看護に興味を持ってくれることを期待しています。							
教員との 連絡方法	C-lerning							
连和刀仏								